

## 7月からテアトルフォンテは塾三昧!

様々な講座を開講します。そこで各講師の皆さまに塾開講にあたって寄稿いただきました。各塾の詳細やお申込み方法はテアトルフォンテホームページをご参照ください。

### コトバ塾



7月～9月まで毎月2回(1日2回)開催 10月に発表会 全7回  
女優の二木てるみさんを講師に迎え、「ことば」を再発見する講座の第2弾。  
最終回にはホールで発表会を行います。

#### [ 二木てるみ ]

長い事役者をして来ると、良くも悪くもコトバに敏感に反応してしまいます。

若者の頭上ガリの2ガツ、4ガツも気になる! ましてやプロのアナウンサーまでもが怪しい発音をしていたりするとイラッ!と来てしまう(笑) そんな自分に困ったものだと思ってしまう。でもやはり美しい心の通った日本語には拘りたい私です。さて、この度2年ぶりにその「コトバ」についての講座が始まります。そこに集って下さる皆様方とお目にかかれることは嬉しい限りです。今私たちは新型コロナに振り回されて1年以上の時間を虚しく過ごして来ました。そう!皆「ム・ナ・シ・イ」と口にします。

私もその一人・・・では何がムナシイと感じるの

だろうか?そんなことを考えながら「ムナシイ」を検索してみました。

「結果も効果も生じない様・からっぽ」とあり・・・思わず悲しい妙な納得をしてしまいました。日本人は彷徨っているのです。

「コトバ」とは「言の葉」です。伝えたい相手に言葉の葉っぱを1枚ずつちゃんと手渡してこそ初めて「言葉」になります。そして心が通うのです「人と距離を取ってください!」「マスクをしていても、長時間会話をしないでください!」そういわれ続けて来て、呼びかけられてもより具体的な納得のいく言葉を私達は受け取る事ができないままなのです。

だから・・・ムナシイのだと思います。「言葉」は、ただの記号にもなれば、人を刺す刃物にもなり、

人を慰め勇気を与える存在にもなりうる便利なモノです。

それ故、扱いが難しい。その昔、現在の言葉に繋がる大和言葉と言われた独特の日本語が存在していました。そこには人々の暮らしや心の内から表現された豊かな感情があふれている言葉が存在しています。

身体と心は繋がっています。そして心から滲み出る本物の言葉に触れてこそ、人間は納得し感動を覚えるのです。

皆様の一度眠りについてしまった感性を違った風の中でどうぞ目覚めさせてくださいませ。豊かな言葉と共にお待ちいたしております。

### 絵画塾



8月21日(土) 2コース各12人で開催予定  
泉区在住の美術家親子、松本敏裕さんと松本亮平さんを講師に迎え、『パレットナイフで描く油絵』『動物を描く』のふたつの講座を開催。親子でもおひとりでも参加できる講座です。



#### [ 松本敏裕、松本亮平 ]

『絵画塾』は、江戸時代の寺子屋と捉えてよいでしょう。寺子屋では、師匠は、学びにやってくる子供たち一人ひとりの希望を考え、それぞれにあったカリキュラムを作る個別教育を行ったそうです。

テアトルフォンテの創作室がまさにその場所になります。師匠に当たる松本敏裕は、40年余神奈川県の高校の美術の先生として、『創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、感性を高め、心豊かな生活を創造していける』生徒を育ててきました。

もう一人師匠の松本亮平は、敏裕の取り組みを

幼少の頃から見て育ち、現在は作家として活動のかたわら、作品に共感する社会人の方々に『創作の楽しさ、柔軟なモチーフ設定、画材の工夫など』を指導しています。

これまで、毎年夏休みに松本敏裕、亮平で絵画制作ワークショップを開催して、沢山の皆さんの創作活動を支援してきました。今回開催される『絵画塾』では、家にいる時間が増えている皆さんに、絵画制作って、こんなにも簡単だったのかと制作のハードルを低く出来るヒントを惜しむことなく提供します。

初心者の方から久々に筆をとる方、展示会に出したい方、作家の制作の一部を垣間見たい方まで、寺子屋同様に対応します。

制作にあたっては、画材の用意、モチーフの設

定等は当方です。敏裕の場合は、乾燥が早く匂いの少ない水可溶性油絵具を使用して静物画を描きます。ペインティングナイフをメインに使用して短時間で制作できます。額装した後お持ち帰りいただけます。

亮平の場合は、動物をモチーフに描いていきますが、沢山のフィギュアを用意しますので、イメージを膨らませた制作が出来、額装してご自宅で飾ってください。テアトルフォンテの創作室で待っています。



### オペラ塾

9月～12月まで全5回

毎年12月にオペラ上演を主催している舞台音楽研究会のご協力を得て、オペラを前後左右上下からとらえ、考える講座です。演出家、指揮者、音楽家の各氏を講師にそれぞれの立場からオペラ「カルメン」の解説をしていただきます。オーケストラ合わせの日には公開リハーサルとして鑑賞し、オペラ制作の一端を垣間見ること、よりオペラ鑑賞を楽しめる機会を体験します。